

「私は沈黙しない」

米連邦議会・下院でのイスラエル批判演説

田中利幸ブログ『吹禪・Yuki・Tanaka』2023年11月9日より転載

11月8日にアメリカのオンライン番組「Democracy Now（今こそ民主主義を）」で取り上げられた、ラシダ・トレイブ議員の米連邦議会・下院における素晴らしい演説の全文を翻訳してみました。

アンカーは、「Democracy Now」番組の共同創立者でもあるエイミー・グッドマンです。演説は、下記のURLで視聴できます。https://www.democracynow.org/2023/11/8/house_censures_rashida_talb_on_israel

イスラエルによるガザへの執拗な攻撃による死者が1万人を超え、世界中の何百万もの人々が停戦を求めて街頭で行進するなか、米連邦議会下院は今週火曜日（11月7日）、下院で唯一のパレスチナ系米国人の議員に対する問責決議を行なった。234対188の投票結果により、議員たちはラシダ・トレイブ下院議員のイスラエル批判を公式に非難し、その中にはパレスチナ人の自由と平等の呼びかけスローガンである「川から海へ」という表現を、彼女が擁護したという批判も含まれた。「パレスチナとイスラエルの子どもたちの叫びは、私には何ら変わりなく聞こえます」と、投票前の感情的なスピーチでトレイブは語った。「私が理解できないのは、パレスチナ人の叫び声が、なぜみなさんには違って聞こえるのかということです」。

*「ヨルダン川と地中海の間のすべての土地をパレスチナ人が支配すべきだ」という意味のスローガンだと言われている。（田中注記）



エイミー・グッドマン

火曜日、下院は民主党のラシダ・トレイブ下院議員（下院議員で唯一のパレスチナ系アメリカ人）のイスラエル批判に対する問責決議を行いました。投票結果は234対188で、22人の民主党議員が共和党議員とともにトレイブ議員を問責しました。投票に先立ち、同議員は議場で次のように演説しました。

トレイブ議員

下院議長、私は米連邦議会です。議員を務めている

唯一人のパレスチナ系アメリカ人であり、今こそ

私のような人間の物の見方がここで必要なのです。したがって、私は沈黙するつもりはありませんし、私の言葉が歪曲されるのを見逃さずわけにはいきません。議員のみなさん、私がデトロイトの出身であることをお忘れですか。この国で最も美しく、最も黒人の多いこの街で、たとえ声が震えようとも、権力に対して真実を語ることを私は学びました。

私をいじめ、脅かそうとしても、あるいは私の発言を検閲しようとしても、うまくいかないことを申し上げておきます。なぜなら、この停戦（市民）運動は、一人の人間の言動よりはるかに大き

なものだからです。この運動は日々拡大しつつあります。ネタニヤフ首相の極端な過激主義に反対し、米政府が（イスラエルによる）集団的懲罰や骨まで肉を溶かす白リン弾の使用を支持する姿をこれ以上見るに耐えないと考える人々が、この国中に何百万人もいるからです。行き場の無い何百万人もの人々に対して、食糧、水、電気、医療を絶つことを支持する我が国の政府を、議長、彼らはもう見るに耐えないからです。私と同じように、議長、戦争犯罪行為に対してはさらなる戦争犯罪行為で応答すべきだとは、この人たちは信じてはいません。パレスチナ人の命を認めようとしない連邦議会と政権に、私は自分の魂が削り取られるような深い痛みを感じます。これまでに、百万人以上のパレスチナ人が殺されました——その大半が子どもたちです。

しかし、これだけは、はつきりさせておきたいと思えます。私が批判しているのは常に、イスラエル政府とネタニヤフ首相の行動です。議長、国民と政府を分けることは重要です。どんな政府であろうとも、批判の対象にならない政府はありません。イスラエル政府を批判することが即反ユダヤ主義的であるという考え方は、非常に危険な前例を作ることであり、私たちの国の各地で人権を訴える多様な声を封じるために使われているのです。

議長、今現在、この連邦議会の外で、自分たちの政府が自分たちの人間性を奪っていることに

苦悶しながら耳を傾けている人々が、どのような思いでいるかお分かりですか？ 自分たちが選挙で選んだ米国の大統領が、瓦礫の下で死んでいく子どもたちやその両親たちの映像を次々と目にしながら、その死者数に（誇張だと）異議を唱えることで、人間性を奪っていることを。議長、憎悪犯罪の増加に怯え、イスラム恐怖症や反ユダヤ主義が私たち全員の治安を悪くしていることを知っている私たちが、自分の子どもがイリノイ州で（ガザの）ワデアという名前の6歳の子が受けたような恐怖に見舞われるかもしれないと心配することが、どんなことかお分かりですか？ こんなことをこの場で言わなければならないなんて自



分でも信じられませんが、パレスチナの人々は使っている品物ではありません。

エイミー・グッドマン（解説）

ラシダ・トレイブ下院議員が胸がつかまって言葉が途切れると、彼女の同僚の下院議員であるイルハン・オマー*が、同僚のイスラム教徒の下院女性議員であるトレイブの肩にやさしく手を置いて、支えています。

*イルハン・オマーはミネソタ州選出の民主党の下院議員で、ソマリア系移民のイスラム教徒。（田中注記）

トレイブ議員…

私たちは、他の誰とも同じように、人間です。私の祖母は、他のどのパレスチナ人とも同じように、また誰もが権利を持っているはずの、ただ自由な人間として、自尊心をもって生きたいだけなのです。議長、命を救うために声を上げることは、信仰や民族にかかわらず、この議場で論争になるべきようなことはありません。パレスチナとイスラエルの子供たちの叫びは、私には何ら変わりなく聞こえます。私が理解できないのは、なぜパレスチナ人の叫び声が、みなさんには違って聞こえるのかということです。

議長、私たちは、誰にも共通の（普遍的な）人間性を失ってはなりません。私には、イスラエル、パレスチナ、アメリカ全土、そして世界中の平和を求める人々の声が聞こえます。私は、愛する人

を失いながらも、停戦と暴力の終結を求めるイスラエルの勇氣ある（ホロコーストの）生存者たちに勇氣づけられます。全米の数え切れないほどのユダヤ系アメリカ人が立ち上がり、愛情を込めて「私たちの名前を使って（パレスチナ人を）殺すな」と言っています。

議長、私たちは停戦を、またガザへの決定的に重要な人道支援物資の即時提供を、すべての人質と恣意的に拘束された人々の解放を、そしてすべてのアメリカ人の安全な帰還を求め続けます。私たちは、すべての人々の人権と尊厳を守り、イスラエル人とパレスチナ人の平和的共存に基づいた、誰であろうと——誰一人として——非難することなく、いかなる人も、いかなる子どもも、暴力の恐怖に苦しんで生きる必要がないことを保障する、真の恒久的な平和を構築するために働き続けます。

ミシガン州選出の民主党議員の71%が停戦を支持しています。よって、私を個人的に非難しようとしても、彼らの声を黙らせることはできません。大多数のアメリカ人市民と一緒に、できるだけ多くの命を救うために今すぐ停戦を支持するよう、私は連邦議会の同僚たちに強く求めます。バイデン大統領は、一部の人間だけではなく、私たち全員に耳を傾け、私たち全員を代表しなければなりません。私は大統領に対し、停戦と殺戮の終焉を求める勇氣を持つよう強く求めます。ありがとうございました。これで終わります。